

一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 笹倉 政芳



受 領 日	番号
平成 28 年 5 月 31 日	5
午前・午後 3 時 21 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 定住推進課と商工連携室の取組を問う	町長
<p>定住推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ①移住定住推進の取組に企業に関わってもらおう取組は。 ②町のPR動画を制作し、インターネットの動画投稿サイトでの公開など広く放映チャンスを探り、町の魅力を積極的にアピールする取組は。 ③空き家情報バンクの取組は。 ④空き家視察ツアーの取組は。 <p>商工連携室</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町内の事業所や会社では人手不足が慢性化している中、高校生に対して企業の協力で模擬就職相談会の開催の取組は。 ②地域ブランドの開発・地産地消などの取組は。 ③産学連携事業支援の取組は。 ④観光交流協会との連携事業の取組は。 	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

多可町には本年度から「定住推進課」と地域振興課内に「商工連携室」が誕生しました。「定住推進課」においては人口減少に対応する施策「商工連携室」においては地域経済の活性化にと、果敢に挑戦して頂く事に大きな期待を寄せる所であり、まさに「多可町創生」に繋がっていくと確信しています。

さて、去る5月11日～12日にかけて吉田定住推進課課長にも同行して頂き、鳥取県日南町・岡山県では、美作市と奈義町へ出向き全議員視察研修を行いました。

日南町では、移住専任相談員1人と、地域との移住者をサポートする集落支援員2人を配置する取組み、美作市では岡山県空き家情報流通システムの活用や住民の皆さんに周知を図るため固定資産税納付書に、空き家情報依頼のPRカードを同封する取組み、また奈義町においては、平成24年に「奈義町子育て応援宣言」をし、住民の皆さんと共に意識の高揚を図り、合計特殊出生率「2.81」を達成された経緯など、それぞれ多可町にとって有意義な視察となりました。

しかしこのような取組みを参考に多可町独自の施策を実践していくには多くの動力が不可欠だと感じますが、「定住推進課」には庁舎の建設や住宅政策室の業務もあり特化してやっていけるのか、一抹の不安もあります。生活環境常任委員会でも議論を交わしていますが、今一度定住を推進する施策と町長の意気込みをお聞かせ下さい。

また、なかなか企業誘致が進まないなかでの「商工連携室」の立ち上げは、商工会と密接な連携強化を図ることによって地域経済の総合的な活性化を目指す狙いがあるのだと思います。町長が何時も口にする風土を活かす事業の展開が多可町創生に繋がる一歩だとの思いで決断されたと推測します。

既に多可町には、中小企業庁が推進する兵庫県に4か所しかない「兵庫県よろず支援拠点」「サテライト相談室」が開設されており、経営者との連携がとりやすい環境だと思います。平成26年6月に成立した「小規模企業振興基本法」に象徴される小規模事業者の持続的発展を支援していくことが、多可町には合っているのかもしれませんが。

先日行われた多可町商工会総代会において、会長は「商工連携室」と一体となり事業の展開を行えば新たな風が吹く、大きな期待をしていると挨拶されました。多可町商工会では経営発達支援事業に積極的に参画し県下ではトップの60件が認可され事業展開がなされています。

地域振興課としても仕事の量が増え大変だと思いますが、「いつやるのですか？」の問いに「今でしょう！」の思いで頑張ってもらいたい。「商工連携室」の施策について町長の熱い答弁を期待し質問とさせていただきます。